

備前市事務事業評価シート

(平成20年度事業)

事業の概要			
事業開始年度 昭和45年～			
総合計画	大項目	基本目標	02 健康でやさしさあふれるまちづくり
	中項目	基本施策	01 やさしさあふれるまちづくり
	小項目	施策	04 高齢者福祉
事務事業名			14 社会福祉推進事業
			根拠法令・規程等
			問 担当課(室) 介護福祉課
			合 職・氏名 高齢者福祉係長・春名美郎
			先 電話 0869-64-1827

事業の実施	
対象 (誰・何に対して)	地域住民 (閉じこもりがちな高齢者)
目的 (何のために)	社会福祉協議会が行う社会福祉を目的とする事業の発展及び社会福祉に関する活動により、地域福祉の推進を図ることを支援する。
行政活動 (どのような方法で)	備前市社会福祉協議会に対して補助金を交付する。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	事業の設置数を増やすことで、閉じこもりがちな高齢者に対して、社会参加意欲の向上、生きがい発掘、相談及びやさしさ解消を図り、地域の輪や活性化に繋げていく。

事業の実績						
活動	実施項目		単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績
	各種事業活動回数		回	499	445	395
実績	総合相談・心配ごと相談件数		件	236	172	198
	事業費	必要人員	千円	0.16人	0.04人	0.01人
業績	事業費		千円	34,716	32,521	21,542
	国	県	支出金			
財源	受		千円			
	総	入	金			
市		債				
一		般				
受		益				
者		負				
担		担				
比		率	%			

結果指標名					
結果指標①	単位	平成18年度実績	平成19年度実績	平成20年度実績	到達目標値
各種事業活動回数	説明	支所を含め社会福祉協議会の年間活動回数			
結果指標量	回	499	445	395	
対前年比	%	—	89.2%	88.8%	
活動コスト	円	34,716,000	32,521,000	21,542,000	
単位当たりコスト	円	69,571	73,081	54,537	
結果指標②	説明	支所を含め社会福祉協議会主催の年間総合相談・心配ごと相談件数			
結果指標量	件	236	172	198	
対前年比	%	—	72.9%	115.1%	
活動コスト	円	34,716,000	32,521,000	21,542,000	
単位当たりコスト	円	147,102	189,076	108,798	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	到達目標値
憩いの場設置数 ※平成18,19年度は相談解決率	目標値(A)	75	75	60	62
	実績値(B)	72	90	59	到達目標年度
	達成率(B/A)	96.0%	120.0%	98.3%	平成21年度
成果指標設定の考え方・式や説明					
高齢者憩いの場事業の設置箇所数					

事業の目的、対象、内容を考えながら目的妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		妥当性評価<A~E>	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input checked="" type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 類似した事業がある	判定理由・課題認識 社会福祉協議会への市からの事業委託や、ボランティア育成をはじめとする独自事業を実施することで、地域のニーズに添った事業展開ができ、地域福祉の推進にとって役割は増大している。
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い <input type="checkbox"/> 説明	
効率性の評価	コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価<A~E> B 判定理由・課題認識 社会福祉協議会の合併から3年半が経過し、事業内容の統一化、地域格差の是正を図っているところであるが、更に、効率的な事業展開が求められる。なお、コスト減については、補助金の減額によるものである。
	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない	
有効性の評価	市民参画度	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映させる仕組みがある <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプランづくりから市民参加を得る手段をとっている	有効性評価<A~E> B 判定理由・課題認識 平成11年度に旧備前市で事業を開始してから、年々設置数も増加しているが、設置数の少ない日生、吉永地域での新規設置促進を図っていきたい。

平成21年度の状況		結果指標量①		結果指標量②		成果指標量	
目標値	450	200	62				
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	市からの補助金が削減されているため、事業の拡大は望めないが、限られた予算で効率的な事業実施が必要となる。						

総合評価		評価区分<A~E>
社会福祉協議会が行う事業は、地域福祉の推進に欠かせないものであり、今後も地域福祉の推進母体として事業を継続していかねばならない。合併してエリアも広くなり、手法も違っているが、地域間格差を是正しながら効率的な事業展開を目指していく必要がある。		B

平成22年度以降の方向性・内容		結果指標量①		結果指標量②		成果指標量	
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明	高齢者憩いの場事業については、新規設置を推進すると共に、助成期間が過ぎた団体についても事業が継続できるよう配慮していきたい。相談事業については、より一層のPRに努め、弱者救済に努めたい。						
改善がある場合	評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果			
	効率性	事業の効率化	平成22年度	コスト削減、事業の効率アップ			